

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成27年2月26日 (2015.2.26)

【公開番号】特開2014-21297(P2014-21297A)

【公開日】平成26年2月3日 (2014.2.3)

【年通号数】公開・登録公報2014-006

【出願番号】特願2012-160176(P2012-160176)

【国際特許分類】

G 0 9 B 5/04 (2006.01)

G 0 9 B 19/04 (2006.01)

G 1 0 L 19/00 (2013.01)

【F I】

G 0 9 B 5/04

G 0 9 B 19/04

G 1 0 L 19/00 3 1 2 E

【手続補正書】

【提出日】平成27年1月8日 (2015.1.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

外部メモリから読み込まれた音声データを格納する記憶部と、
内蔵又は接続されたマイクロホンで集音される音声を入力する音声入力部と、
内蔵又は接続されたスピーカによる音声出力を実行させる音声出力部と、
再生処理としての上記記憶部の音声データの音声出力部への転送と、録音処理としての上記音声入力部の音声データの上記記憶部への格納の制御を行う制御部と、
を有し、

上記制御部は、音声データの再生時に該音声データの停止位置検出処理、及び再生開始から該停止位置までの再生時間検出処理を行うとともに、該再生時間検出処理で検出した再生時間に基づいて停止時間を設定し、上記停止位置検出処理で検出した位置で、上記停止時間の間再生を停止させ、上記停止位置から再生を再開させる制御を行う録音再生装置。

【請求項 2】

上記停止位置は所定時間以上の無音区間が検出された位置である請求項 1 に記載の録音再生装置。

【請求項 3】

上記停止位置は音声データのファイルの切れ目である請求項 1 又は請求項 2 に記載の録音再生装置。

【請求項 4】

上記制御部は、音声データの再生中には、上記音声出力部へ転送される再生音声データを上記外部メモリに保存する制御を行う請求項 1 乃至請求項 3 のいずれかに記載の録音再生装置。

【請求項 5】

上記制御部は、再生停止中に上記音声入力部から入力された音声データを上記外部メモリに保存する制御を行う請求項 4 に記載の録音再生装置。

【請求項 6】

上記制御部は、音声データの再生中には、上記音声出力部へ転送される再生音声データを上記外部メモリに保存する制御を行うとともに、再生停止中には、上記音声入力部からの音声データを上記外部メモリに保存する制御を行い、上記外部メモリに保存された上記再生音声データおよび上記音声入力部から入力された音声データにメタ情報が付加される請求項 1 に記載の録音再生装置。

【請求項 7】

上記メタ情報が音声データの開始ポイントと停止ポイントである請求項 6 に記載の録音再生装置。

【請求項 8】

上記制御部は、上記メタ情報に基づいて、上記外部メモリの再生音声データおよび上記音声入力部からの音声データの再生制御を行う請求項 6 又は請求項 7 に記載の録音再生装置。

【請求項 9】

外部メモリから読み込まれた音声データを格納する記憶部と、内蔵又は接続されたマイクロホンで集音される音声を入力する音声入力部と、内蔵又は接続されたスピーカによる音声出力を実行させる音声出力部と、再生処理としての上記記憶部の音声データの音声出力部への転送と、録音処理としての上記音声入力部の音声データの上記記憶部への格納の制御を行う制御部とを有する録音再生装置の再生方法であって、

音声データの再生時に音声データの停止位置検出処理、及び再生開始から上記停止位置までの再生時間検出処理を行い、

上記停止位置のタイミングで、上記再生時間検出処理で検出した再生時間相当期間の再生停止を行い、

再生停止してから上記再生時間相当期間経過後に再生を再開する録音再生方法。